



JRFUの安全対策について

2022安全・インテグリティ推進講習会について

2022年2月28日
日本ラグビーフットボール協会
安全対策委員会

ラグビー競技において重症事故を撲滅するため、日本協会に報告された重症事故事例や2021安全インテグリティ推進講習会の受講者アンケートにおける意見・要望等を踏まえ、2022安全・インテグリティ推進講習会（以下「講習会」）を実施します。

また、日本ラグビーとして取り組むべきインテグリティに関する課題を共有し、対策をお伝えします。（インテグリティとは、ハラスメント・暴力行為・ドーピングなどの問題行動を決して行わないという健全性に加えて、マナー・規律・スポーツマンシップなどのラグビーが持つべき倫理性・高潔性を含む概念です。）

本講習会は、2021年度と同様にオンライン講習会で開催します。

1. 受講対象者

- ・チーム登録を目的としたチーム責任者（必須）
- ・コーチ、スタッフ、選手、選手の保護者など（任意）

注）当講習会の受講は、チーム登録の義務となっています。

「チームの登録等に関する規程」（第6条1(3)）

2. 受講期間

- ・チーム責任者：2022年3月1日（火）から2022年5月31日（火）
（チーム登録処理は7月以降も可能ですが、原則として6月末までに完了してください）
- ・チーム責任者以外：2022年3月1日（火）から2023年2月28日（火）

3. 講習会内容（100分）

- (1) 挨拶 日本協会専務理事 岩淵健輔（3分）

(2) 安全対策

- ①安全なラグビーの実現に向けて（28分） 安全対策委員会委員長 齋藤守弘
- ②【医務】ワールドラグビーの安全対策と脳振盪（24分） 安全対策委員会委員 佐藤晴彦
- ③【医務】ラグビー外傷・障害対応マニュアル改訂（13分） 安全対策委員会委員 山田睦雄
- ④【コーチ】指導者資格制度とコンタクトロード（5分） 安全対策委員会委員 川合レオ

(3) インテグリティ

- ・インテグリティへの取り組みのお願い（18分） インテグリティ推進部門部門長 齋藤守弘
- 参考動画：ラグビー憲章 5つのコアバリュー（3分）

4.受講手順

【ステップ1】WR(ワールドラグビー)eラーニング受講

※登録チーム責任者は受講必須（その他の方は任意）

- ・「Rugby Ready」
- ・「Concussion（脳振盪一般向け）」
- ・合格証明書提出は必要ありません。「ステップ3」アンケート内に受講情報を入力していただきます。

受講手順は[こちらのリンク](#)を参照してください。

【ステップ2】ビデオ視聴

- ・受講者は[こちらのリンク](#)またはQRコードからビデオを視聴してください。（チーム責任者は2022年5月31日まで）



(2022年3月1日から視聴可能)

- ・説明資料は[こちらのリンク](#)またはQRコードからダウンロードしてください。



- ・ラグビー外傷・障害対応マニュアル（2022年度版）については、書籍発行（4月頃）に向けて準備中です。PDF版はございますので、こちらをご確認ください。



HP用-ラグビー外傷・障害対応マニュアル2022.pdf
PDFファイル [7.5 MB]

ダウンロード

(2022年3月1日からダウンロード可能)

【ステップ3】確認テスト・アンケート回答

・受講者はビデオ視聴後、[こちらのリンク](#)またはQRコードからアンケートに回答してください。（チーム責任者は2022年5月31日まで）



注意事項)

1. 必ずチーム登録の際に使用した漢字でお名前を入力してください。
2. 複数チームを担当する方は、所属チームの数だけアンケートに回答してください。
3. チーム番号は、7桁の番号です。
4. 所属チームがない方、チーム登録が目的でない方は、チーム番号を「0000000」で入力してください。

【ステップ4】ラグビーファミリー（登録システム）への受講者登録

- ・日本協会にて、受講者のアンケート提出を確認後、「受講登録番号」を発行します。
- ・受講登録番号を発行後、日本協会にて、ラグビーファミリー（登録システム）への受講者の登録手続きを行います。
- ・受講実績の反映は、2022年3月末以降になります。（受講結果の反映には数日を要します）
- ・本講習会の認定証発行はございません。

<問い合わせ先>

公益財団法人 日本ラグビーフットボール協会安全対策委員会

齋藤守弘 m.saito@rugby-japan.or.jp

塚崎有 yu.tsukasaki@rugby-japan.or.jp

渡辺聡 watanabe@rugby-japan.or.jp